

学校だより

はす

ぬま

ちゅう

かがみ

蓮沼中鏡

平成27年度 第21号
平成28年3月18日発行
大田区立蓮沼中学校
校長 大原章博

第60回卒業証書授与式 校長式辞

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。先ほど、一六一名の卒業生に卒業証書を授与いたしました。この卒業証書は国が定めた三年間の中学課程を修了したと併せて、九年間の義務教育を無事に終了したことを証明するものです。この九年間は「義務」教育と言われている期間ですから、保護者の皆さんにとっては子どもを学校に行かせなければならない義務がありました。本日をもって保護者の皆さんはこの「義務」から解放されることとなります。また、学校としては、皆さん一人ひとりに、これから生きていく上で必要となる基礎的な力を身につけさせる義務がありました。義務教育が終了し、卒業証書を授与したということは、皆さんには生きていく上での基礎的な力がついたことを認めたということです。これから先は、義務ではありません。皆さんは自分で選んだ道を、自分の責任で歩いていかなければなりません。

これから、皆さんが出会うであろう人生は、中学時代とは比較にならないくらい厳しく、辛いこともあるかもしれません。壁にぶつかり、悩み、苦しみ、悲しみに出会うかもしれません。義務教育を修了した今、自分の人生は自分の責任であるという覚悟をもつ必要があります。

卒業生の皆さんは、この三年間、さまざまな体験を重ねながら、自分の人生の設計図を描いてきました。特に今年度は、本校開校六十周年の年にあたり、すべての行事が六十周年記念という冠がつけられ、皆さんに課せられた使命は大きいものでした。「蓮中維新」という掛け声のもと、今までの良き伝統を受け継ぎながらも、新しい蓮沼中学校を創っていく担い手としての期待を一身に受けていました。そんなプレッシャーの中、皆さんは本当によく活躍してくれました。運動会での組体操で行った肩の上ピラミッドは、歩き出した時には、参観者から驚きの喚声があがりました。蓮中祭での堂々とした合唱では、感動を与えてくれました。六十周年式典では、立派な態度で臨み、校歌の大合唱では鳥肌が立ち、参列者からは素晴らしいとの声をいただきました。このように、いろいろな場面でその力を発揮してくれました。これらすべてが、後輩の良き手本でした。皆さんが「蓮中維新」を推進してくれたのです。

しかし、こうした皆さんの陰には、小さいころから、君たちの成長を祈り、見守り、考えてこられたお父さんやお母さんや家族の方々の存在があったことを忘れないでください。いつも、君たちの笑顔を喜び、ふさぎ込んでいたら心を痛め、ひたすら君たちの成長を願い、この日を、心待ちにしてこられたのです。この式を終えたら、ぜひ感謝の気持ちを言葉に表してください。

さて、今年度私は、先ほども述べたように「蓮中維新」という言葉を本校のスローガンとして掲げてきました。これは、明治維新にあやかった造語です。

明治維新の精神的指導者と言われている吉田松陰は、「草莽崛起論(そうもうくつきろん)」を唱えました。草莽(そうもう)とは民衆の力という意味です。「孟子」に出てくる言葉で、草莽は草むらに隠れている隠者のことを言います。日本では松陰が初めて使い、一般大衆を指していました。そこには、下級武士、脱藩浪士、商人、農民も入っています。崛起(くつき)とは山のようにわき立つという意味で、一斉に立ち上がるということです。志を持った在野の人々が日本の変革を担う原動力になるという考え方なのです。松陰は、長州藩、今の山口県萩市にあった私塾の松下村塾で指導に当たりました。彼はそこで身分の分け隔てなく塾生を受け入れていました。そして、松下村塾を巣立っていく人々を「志士」と呼びました。志士とは、仁を備え、死を恐れない勇者のことで、志士という言葉が日本で使われたのは幕末・維新に限られています。国を憂え、現状を変革しようという気概を内に燃え立たせていた志のある人のことを言うのです。

まさに、蓮中維新の原動力となった卒業生の皆さんもこの志士に当たるのではないのでしょうか。志士としての気概をもって、社会に巣立って行ってほしいのです。未来を生きる人間として、志を大きく持てば、その実現に向かって、努力し、自分の限界への挑戦を通して、より深い喜びと、生きていることを実感すると思います。これは、幕末の志士と同じなのです。さらに、広く社会に貢献する人になってほしいのです。そのためには、人とのつながりを大切に、人の痛みがわかり、美しい心を持ってください。吉田松陰は「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者

に実行なし。故に、夢なき者に成功なし。」という言葉を残しています。これからの時代は、皆さんの活躍が不可欠です。ぜひ、夢を持ち、大きな志のもと、広い視野と美しい心を育み、実行力のある人になってください。

結びになりますが、保護者の皆様方、中学校時代という多感で難しい時期であり、ご苦労されたことも多かったと思います。そのぶん、本日の喜びもひとしおではないかとお察いたします。お子様のご卒業おめでとうございます。お子様の新しい門出を心よりお祝い申し上げます。また、三年間にわたって、本校の教育活動に手を携えてご協力いただきましたことに心から感謝申し上げます。義務教育を終えたとはいえ、卒業生はまだまだ保護者の支援が必要です。ご臨席いただきました来賓の皆様には、地域で卒業生の成長を見守っていただきたくお願い申し上げます。

本日の卒業式が、卒業生の輝かしい未来への第一歩となることを祈念し、本日の式辞といたします。

平成二十八年三月十八日 大田区立蓮沼中学校長 大原 章博

卒業関連行事

美化活動

7日は、今まで使用してきた教室に感謝の気持ちを含めて美化活動を行いました。“立つ鳥あとを濁さず”

薬物乱用防止教室

8日は、薬物の乱用を防止するための講演がありました。薬物の恐ろしさを知り、絶対に手を出さないことが大切です。

救命救急講習

10日に救急救命講習を行いました。



心肺蘇生法を中心とした講習会でした。AEDの使い方や、人工呼吸等の方法について学びました。

実際に、緊急を要する場面に出会ったら、対応できるといいと思っています。

いざというときに実践できるようにしておくことが大切です。



球技大会

9日は、球技大会でした。※ ()内は優勝クラス
男子は、ドッジボール(B)・バスケット(B)・サッカー(D)を行い、女子は、ドッジボール(A)・バスケット(A, C)・しっぽとり(A)の各競技で競い合いました。
総合優勝は、B組でしたが、協力し合い、声援し、熱が入った試合展開になりました。



卒業遠足

11日には、中学校生活最後の校外での活動として、東京ディズニーランドに行きました。この日は、いろいろな学校が来園していて、混雑していましたが楽しんでくることができ、良い思い出となりました。



1組お別れ会&音楽発表会

7日には、1組で3年生への感謝の気持ちをこめて、お別れ会が開かれました。レクリエーションや、各生徒が考えた出し物などを行い、楽しく過ごしました。

11日には、近隣の小学生や本校の保護者をご招待して音楽発表会を開催しました。今回が昨年に引き続き、2回目になります。日ごろの授業で取り組んできた合奏2曲、ハンドベル4曲、合唱3曲を演奏しました。素敵な発表会になり、生徒も充実感を感じていました。

